

---

# CITPコミュニティ概況

*2017/3/2*

**CITPフォーラム代表 平林 元明**

- 活動状況

- ソフトウェアジャパン2017のアンケート結果

# 活動状況

- CITPフォーラム対象者
  - ・ CITP認定者数一約6500名(内個人認定者68名)
- 主な分科会活動 計画中含む
  - ・ **復興支援プロボノ** 東日本大震災から5年、被災者のメンタルヘルスの問題、孤独死、不登校出現率の増加など目に見えない問題が悪化している。CITPが実際に現地を訪れ、被災地が現在どうなっているか、現地はどのように考えているか、どのような問題があるのかを理解し、CITPがどのような支援活動が出来るのかを考察する。
  - ・ **日本を強くする「攻めのIT」** これまではコストダウン、業務効率化をターゲットとしてきたIT投資であるが、ビッグデータ、IoTなどの登場を契機に、いよいよ「攻めのIT」への展開が期待される。「攻めのIT」におけるプラットフォームの姿、中小企業やNPOにおける「攻めのIT」、CITPとしての「攻めのIT」に対する貢献などについて提案する。
  - ・ **小学校段階におけるプログラミング教育とCITPとの連携** 「小学校段階におけるプログラミング教育」は、現在、文部科学省の有識者会議において検討が進められており、2020年度からプログラミング教育が義務教育において必修化が予定されている。CITPでは、情報化教育において小学校教員のTA制度を検討しており、その試案を提案する。
  - ・ **超スマート社会への人材面の課題とCITPの役割** 内製力を喪失が一つの要因となり優秀なIT技術者の育成を阻みソフトウェア産業が米国に後れを取った。現在のAI、IoTを始めとするデジタル変革が「高度な能力を持つIT技術者」の空前の需要を引き起こしている。日本のIT技術者は、この時流をチャンスとし、自ら学び、自らの能力を磨き、会社や社会の要請に応えていくことで、自らの地位を向上させるべきである。CITP制度を利用しIT産業界の学びの仕組みを作る。
- アニュアルレポート

## ■ 全体会議の場所と開催月

- 日立(4月7日) 東京(済)
- 日本電気(6月10日) 神奈川(済)
- 住友電工(8月23日) 新大阪(済)
- 富士通(10月28日-29日) 神奈川 湯河原合宿(済)
- 中電CTI(12月9日) 名古屋(済)
- 日立(1月11日) 東京(済)
- ソフトウェアジャパン2017(2月3日) 東京(済)
- 日本電気(3月2日) 神奈川(本日)

## ■ 講演

- 全国大会CITPセッション(3月17日) 名古屋
- JUASセミナー/アドバンスド研究会(4月19日) 東京

## ■ 分科会会合の場所と開催日

### ● 社会価値創造分科会 (潜在的ニーズを持つサービスの社会価値創出の研究)

- ✓ 7月1日 IBM(済)
- ✓ 7月28日 IBM(済)
- ✓ 8月23日 住友電工 新大阪(済)
- ✓ 9月26日 NEC(済)
- ✓ 10月28日～29日 湯河原合宿(済)
- ✓ 11月21日 日立(済)
- ✓ 12月9日 中電CTI 名古屋(本日)
- ✓ 1月26日 日立(済)

### ● IT人材評価・育成フレームワーク分科会 (実践的IT人材の評価・育成研究会)

- ✓ 4月7日 日立(済)
- ✓ 6月10日 日本電気(済)
- ✓ 8月23日 住友電工 新大阪(済)
- ✓ 10月28日-29日 湯河原合宿(済)
- ✓ 12月9日 中電CTI 名古屋(済)